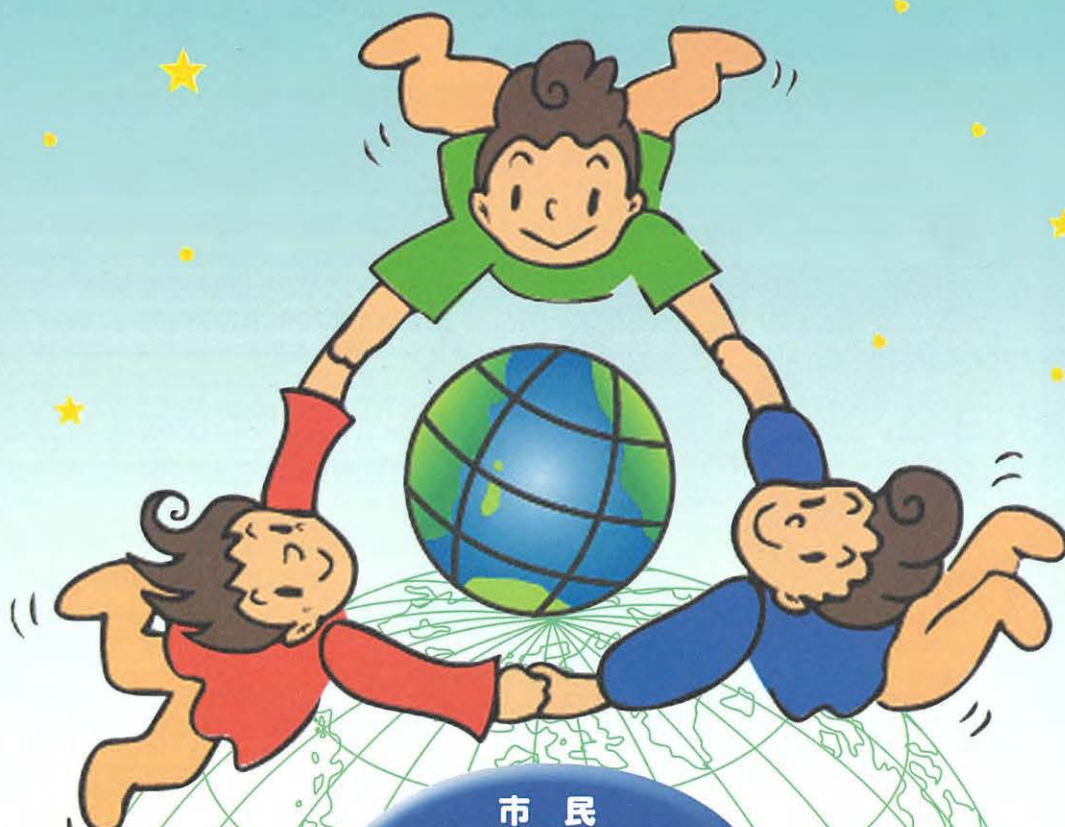


豊中アジェンダ21

地球環境を守る豊中市民行動計画
今日から始めるくらしの提案



市民

市民が生活していく中で、少し意識を変えるだけで、地球環境を変えることができます。一人一人の小さな行動が、大きな力になります。できることから始めましょう。

行政

豊中市では、環境を守る「とよなか市民環境会議」の一翼を担い、活動を支援しています。エコオフィス活動などに取り組む一方、様々な環境政策を進めます。

事業者

事業者は事業活動を通して環境を守ることができます。エコオフィス活動やグリーン購入など環境に対応した新たな産業形成を進めましょう。

このパンフレットは地球環境を守るために市民、事業者が実行できる行動提案を示しています。

21 AGENDA

あなたへのメッセージ message



「まずあなたが愛してください。あなた自身と、人がこの村に生きているということ！」
これは、地球を人口100人の村に例え人々に訴えた詩の一節です。病気や貧困の克服、差別の解消はもちろん、危機に向かう地球環境をよくしていこうという、「地球市民」としての願いを込めたメッセージとして受け止めたいと考えます。

さて、本書は地球のことを考え「今を生きる人々の願いを損なうことなく、未来の人々へ良好な環境を継承する」という持続可能な社会を身近な場所(地域)から、市民みんなで創るため作成したものです。このような計画を世界では「ローカルアジェンダ21」と呼んでいます。豊中では「豊中アジェンダ21」と名づけています。

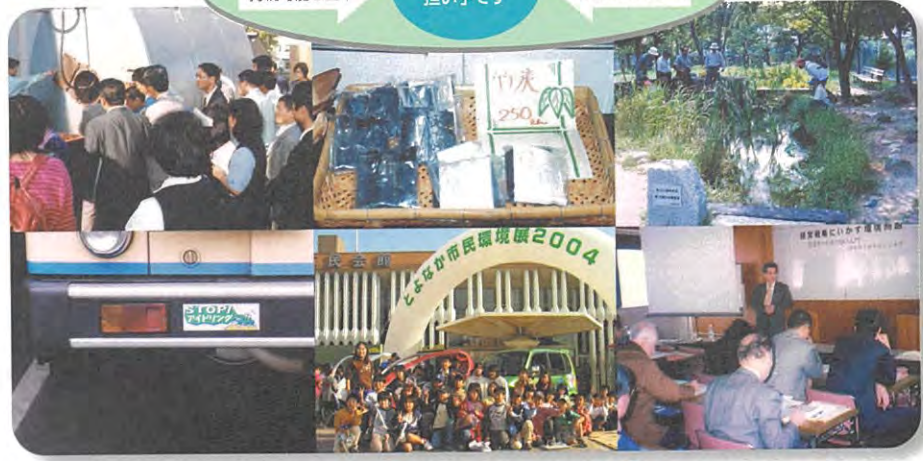
簡潔な言葉で表現しますと、持続可能な社会の道標は次のようになります。

「豊中アジェンダ21」とは

1992年(平成4年)に世界の約180カ国の代表が参加した「地球環境サミット」で合意された「アジェンダ21」を踏まえ、豊中市で1999年(平成11年)3月に策定しました。そこでは市民・事業者・行政が協働とパートナーシップを理念として環境に配慮した市民生活や産業活動を進めるため、101の行動項目からなる計画を定めました。6年が経過したことや、地球環境の現状をみつめて今回88の行動提案項目に改定しました。

- ア (明日)からではなく、今から
- ジ (自分)たちの知恵と行動で
- ちよつとは エ (エンジョイ)しつ
- 市民(み **ン** な)で力を合わせ
- ダ (大事)な地球をめざし
- 持続可能な **21** 世紀をつくろう!

今から始められる
 88の項目を提案します
 いくつかの行動が習慣になれば
 あなたも立派な環境人です
 びと



創ろう風と光とせせらぎとふれあいのまちとよなか TOYONAKA

地球温暖化防止と省資源・循環の暮らし

二酸化炭素排出量の削減

ごみ発生排出の抑制

水

資源環境

次世代や
暮らしや社会を思い直そう

3 冷房温度は28度に暖房温度は20度を
目安にしよう
夏はクールビズ、冬はウォームビズを心がけましょう。

4 エコライフカレンダー(豊中市民版環境家計簿)を
つけて二酸化炭素排出を減らそう



6 暮らしを見直しごみを減らし再資源化を
促進しよう
リサイクル可能なごみの分別システムを作りましょう。

10 ばら売りや量り売りの店を利用し環境
に配慮した買い物をしよう

13 農薬や化学肥料をできるだけ使わな
い環境保全型農業を支援しよう

16 洗たくや打ち水、植木の水やりには風
呂の残り湯や雨水を利用しよう



雨水タンク

17 歯を磨いている間は水道の水を止めるなど
洗面、炊事、洗車などの節水に努めよう
一般家庭の1か月の使用量20m³を作るのに
11.7kgの二酸化炭素が発生します。日常のわずか
な水の出しっぱなしをやめましょう。

2 使い終わった電気製品は必ず主電源を
切ろう
待機時の電力消費は意外に多く家庭の電力の10%以上
を使っています。テレビを見終わったら電源をもとから切
り待機時の電力消費を減らしましょう。



節電タップ

9 買い物袋を持参しよう
レジ袋はごみになり、燃やすことでダイオキシンが発生
したりします。マイバッグ持参は今すぐ出来る「ごみ」減
量の第1歩です。



12 買いすぎや食べ残しをなくし、家庭や事業
所で食品リサイクルを進めるなど、食品をご
みとして捨てないようなシステムを作る
環境に良い商品を販売しているお店を支える消費者
の力が大切です。無駄買いを防ぐ意識をもちましょう。

15 食用油はできるだけ使い切り下水に
流さないようにしましょう
廃食油を燃料化しましょう。



1 二酸化炭素排出量を4~5%削
減(1990年基準)をめざそう

5 省エネに配慮した家造りを普
及しよう

7 使える衣料品、道具、家具はバザ
ーやフリーマーケットに出そう

8 クリーンランドや緑と食品のリ
サイクルプラザ、下水処理場など
を見学し、廃棄の後も考えよう

11 もったいない精神を大切にすると
共にスローライフな文化を育てよう

14 野菜や果物などの食料は地産産
のもの、旬のものを食卓にのせよう

18 健康への影響が危惧される有
害な製品の使用は避けよう

19 環境負荷の少ない家庭、事業
所の営みを進めよう

20 健康増進や食文化向上のため
の食育活動を推進しよう

2章

AGENDA 21

自然のゆたかな豊中にしていく

親しみ学ぶ

21 豊中市内の身近な自然を調べ、
情報を交流し合おう

22 キャンプや野遊びなど、子どもたちが
自然体験できる場を増やそう



自然ふしぎ発見クラブ

守り育てる



ホタルガ

シテムシ

(島熊山の昆虫)

ヤマトシジミ

造り広げる

25 多くの生き物たちがすむ島熊山や
待兼山などの里山を大切にしよう

26 池の大切さを見直し、安らぎとうる
おいをもたらすため池を残そう

30 宅地を造成したり建物を建てるときは
もとの地形や自然を活かそう



竹炭づくり

34 水辺や昔からある木や草の茂った公園
をつくり、みどりを広げよう



※ビオトープとは
ドイツ語の生命(ビオ)と空間(トープ)という言葉で、
多様な生きものがすめる場という意味です

自然に生きる

23 農家などと交流し、体験を通
じて農業や林業を身近なもの
にしよう

24 みどりの多い公園や社寺林の
自然に親しみ、守り育てよう

27 市民の共有財産である街路樹、
公園の樹木の維持管理や川の
清掃に参加しよう

28 地下水や湧き水を大切にしよう

29 市民農園をつくり農地を守ろう

31 庭や敷地の土の面はできるだ
け多く残して、雨が地面にし
み込むようにしよう

32 近所のみどりの達人から草木
を育てる楽しさを学ぼう

33 公園や街角にビオトープをつ
くり、トンボや野鳥を呼び戻
そう

35 ベランダや庭、生垣など少し
の隙間もみどりで埋めよう

36 落ち葉や剪定枝は燃やさず堆肥に
しよう

37 樹木や草花への殺虫剤の使用は控え
よう

生き物との共存が自然とのふれあいで大切なこと
です。殺虫剤は他の虫を食べるクモやテントウムシ
など無差別に殺すことで、生態系を乱し私たちの健
康にも影響します

朝がたに 小鳥のさし 日が染める
いのちの営み 発見にかなる光

環境問題に配慮した事業活動を進めよう

企業の心がけ

省資源・リサイクル

グリーン購入

38 環境マネジメントシステム(ISO14001、EA21、エコステージ、KESなど)を導入しよう

39 従業員に環境情報を知らせ環境教育の充実をはかろう

42 工場や事業所の周辺およびベランダや屋上、壁面の緑化を進め、緑のまちづくりに貢献しよう
屋上や壁面の緑化は夏の直射や冬の寒さを和らげ冷暖房効率を良くします。町の人にも心地良い景観を与えます。

44 事業所にリサイクルを目的としたごみの分別システムをつくろう



機密書類リサイクル

53 自社のグリーン購入リストの作成に努めるなど、事業所で物品を購入する場合は、グリーン購入を積極的に進めよう
価格で選ぶだけでなく環境にやさしいリサイクル品や長持ちするものを優先して購入しましょう。

54 省エネ型で、リサイクルルートが確立されている製品を優先的に購入しよう

55 「エコオフィス活動チェックリスト」をつけるなどしてオフィスの環境度を調べよう

45 事業所にコピー用紙、FAX用普通紙、印刷用紙などの裏面を利用するシステムをつくろう

46 廃棄物として捨てていたものを、資源として循環利用するシステムづくりを検討していこう



工場見学

49 節水型の器具を使用して水の使用量の削減に努め、雨水利用のシステムを導入しよう

50 事業所の電気・ガス・石油類のエネルギー使用量を節約してコスト削減にもつなげよう

51 インバータ式の蛍光灯に替えるなど、省エネタイプの器具への切替を検討しよう

40 自社の環境への取り組み情報を市民に公開しよう

41 化学物質の処理や廃棄物処理など環境基準の法規制を遵守した事業活動を行なおう

43 事業所は、資源の地域回収システムづくりに協力、参加しよう

47 事業所の生産活動を見直して、原材料の使用量削減と工程廃棄物の削減に取り組もう

48 製品の使用後の再資源化を考慮して、原材料や部材の検討を行なおう

52 建物に、太陽光発電などの自然エネルギーの導入を進めよう

56 経営と環境配慮を両立させ、先進的に環境に取り組む事業所を目指そう

事業所を花と緑のまちづくりの中心に
いかに地球にやさしくかたに
して企業

4章

AGENDA 21

環境問題に配慮した交通のあり方を考えよう

公共交通機関の利用促進

エコドライブ

気軽に安全で楽しく歩けるまちづくり

58 低公害車導入に向けたエコステーションの整備を推進しよう
天然ガスの充填所が豊中に1カ所あります。

59 公共交通機関の利用ができる場所は、マイカーの利用を控えよう
同じところへ車で行くと、電車やバスの5倍の負荷が地球にかかります。1km程度なら徒歩、2km程度なら自転車で行きましょう。



67 事前に地図などで走行経路を調べ、無駄な走行を減らそう
効率的に目的地へ行くことで交通量を減らし、無駄なエネルギーを使わなくてよくなります。ナビの利用も有効です。

68 自転車が走りやすい道づくりを進めよう
歩いている人も安全で、すべての人が快適に通行できるまちづくりをしましょう。

69 自転車利用の促進とレンタサイクルの普及を図ろう

70 車いす、ベビーカーにやさしい道のある豊中のまちをつくらう

71 自転車利用のマナーを守ろう

72 車の走行を妨げ、渋滞や事故の原因となるような駐車車は止めよう
駐車車によって渋滞や事故が増えます。渋滞はスピードの加減速が多くなりガソリンの無駄使いになります。

73 健康と環境のために、ちょっとの距離なら歩こう



アイドリングストップステッカー

61 経済速度での走行を心がけよう

62 アイドリングストップを実行しよう
10分間アイドリングを止めるとガソリンが約140cc節約できます。

64 余分な機器の電源は切り、エアコンの使用もひかえよう

65 荷物もガソリンを食べます。車を倉庫代わりにしないようにしましょう



57 車の購入を考えるとときは、より低公害な車を選ぼう

60 利用しやすく効率の良い公共交通システムへの改善・整備を進めよう

63 急発進・急加速をやめて、アクセルを踏む量が一定になるような運転、マニュアル車での早めのシフトアップやAT車のエンジンブレーキの活用などを心がけよう

66 燃費向上のため、定期的な点検・整備とタイヤの空気圧の点検をしよう

74 積極的にまちづくりに参加して歩いて楽しいまちをみんなで作ろう

75 共同集配システムなどの効率的な輸送方法を考えよう(荷物も相乗りさせよう)

駐車時は エンジンストップ
みんなが防ぎ温感化
心がけ

パートナーシップで地球環境を守ろう

環境学習 ネットワーク

地域活性化 共生・連携

76 PTA・公民館講座などでも環境学習を進めよう

77 学校における環境教育を進めよう
環境に対する意識を高めて美化ポスターコンクールに応募しましょう。さらにポスターで啓発して町の美化に取り組みましょう。

78 とよなか市民環境会議アジェンダ21主催の学習会などに参加しよう
講習会など積極的に参加して地域の人たちと自分の町の環境をよくするための方法を考える機会を増やしましょう。

80 地球環境を守るため、あらゆる世代の人、個人も事業所も、それぞれのアイデア・情報を出し合おう
環境情報を掲示したり閲覧しましょう。また、市やNPO法人アジェンダ21に依頼すれば環境問題の講師を派遣してもらえます。

82 生産活動や消費行動の環境影響を広い視野で考えて、他者(次世代、他地域、他の生物など)に責任を押しつけないようにしましょう
生活していく中で消費と環境に与える影響について考えよう。市民一人一人の意識を変えることでお互いが気持ちよく生活できるよう心がけましょう。

83 環境問題やまちづくりなどに取り組む人々が交流しあう拠点を活用しよう

85 豊中アジェンダ21を多くの人・企業にPRしよう

88 NPOとよなか市民環境会議アジェンダ21の財政基盤や環境基金を整えよう
プロジェクトの事業化をすすめましょう。



国連持続可能な開発のための教育(ESD)ワークショップ

ひとりの力は小さいけれど、みんなであれば大きな力



86 とよなか市民環境会議の活動を活発にしよう



ちょっといい豊中見つけにいこかウォーク

79 一人ひとりや1つの団体ではできないことでも、ネットワークで実現しよう

81 身近な地域の資源マップや環境マップを作成して、暮らしの改善・まちづくりに役立てよう

84 市民・事業所・行政、学校や公民館と協力して、環境データのネットワークをつくらう

87 エコマネー(地域通貨)の取り組み組織をつくらう

孫や子に生みよき社会をつくるため
エコマネーを実行するまちづくり

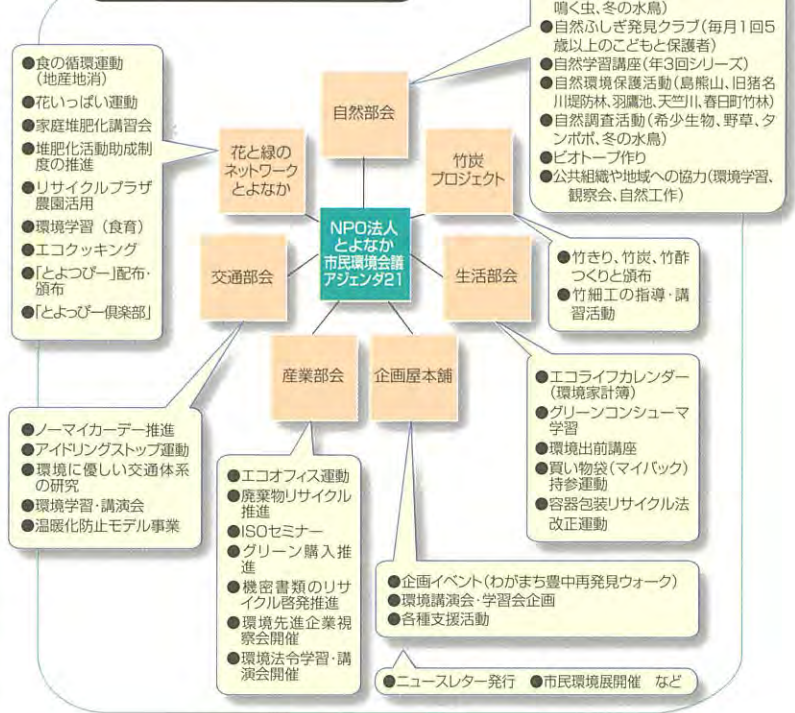
あなたの居場所がここにあります

私たちは、普通の市民が環境を少しでも良くしようと集まって、ささやかな活動を行っているに過ぎません。したがって、誰でもが参加できる組織です。市民どうしが手を携え、豊中づくりを進めませんか。みなさんの参加をお待ちしています。

NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21はこれからも続けます。

- 誰もが、参加できる雰囲気をつくります。
- 参加者の興味と関心、思いを活かす活動を始めます。
- 活動を通じて人の輪を広げます。
- たまには、お茶でも飲める、おしゃべりサロンを設けます。
- 市民・事業者・行政との協働とパートナーシップを大切にします。
- 活動結果をみんなで振り返ります。

豊中アジェンダ21の主な活動



豊中アジェンダ21の沿革

1992年	(ブラジルで開催された地球サミットで「アジェンダ21」採択)
1995年2月～	公害対策審議会が環境基本条例策定のために市内の団体に意見聴取を行い、その後最終答申まで懇談会を開催
1995年10月	豊中市環境基本条例の制定
1996年5月	「とよなか市民環境会議」の発足 会長：豊中市長／構成：事業者・市民団体・行政関係機関など150団体 組織：役員会、コーディネーター・ワーキンググループ(個人)
1996年12月	(地球温暖化防止京都会議<COP3>の開催)
1996年9月 ～1997年3月	作業部会の設立 豊中アジェンダ21の原案作成 アクション&プラン 生活部会：豊中市民版環境家計簿、マイバック運動 自然部会：自然観察会、学校剪定枝の堆肥化、学校ピオトーブづくり 産業部会：エコオフィスチェックリスト、機密書類のリサイクル 交通部会：アイドリングストップステッカー 4部会、ワーキンググループ会議を合わせて200回以上の会合
1998年12月	地球温暖化防止活動大臣表彰
1999年2月	(財)省エネルギーセンター会長賞受賞
1999年3月	豊中アジェンダ21(地球環境を守る豊中市民行動計画)策定 同時に豊中市環境基本計画策定
2001年9月	毎日・地方自治大賞優秀賞
2002年6月	ワーキンググループが「豊中アジェンダ21推進会」として自立 「とよなか市民環境会議」とは別組織となる
2003年6月	豊中アジェンダ21推進会総会でNPO法人化を承認 団体名称を「とよなか市民環境会議アジェンダ21」と変更
2003年10月～	豊中アジェンダ21見直し委員会設立 見直し作業開始
2003年12月	NPO法人格取得
2004年2月	豊中市地域省エネルギービジョン策定
2004年6月～	豊中市「環境情報サロン」の運営を受託、事務所を移転
2004年7月～11月	豊中アジェンダ21見直しワークショップ開催
2005年2月	NPO法人がフジサンケイグループ主催の第14回地球環境大賞 ・環境市民グループ賞受賞
2005年5月	豊中市環境基本計画改定
2005年6月30日	とよなか市民環境会議総会で豊中アジェンダ21改定版を承認



豊中アジェンダ21
 2005年(平成17年)6月30日 改定
 発行 豊中市民環境会議
 事務局：豊中市環境部環境政策室
 〒561-8501 大阪府豊中市中桜塚3-1-1
 TEL 06-6858-2106 FAX 06-6842-2802
 編集 特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21
 〒561-0804 豊中市曾根南町1-4-3 環境情報サロン内
 TEL 06-6863-8792 FAX 06-6863-8734
 E-mail ecoshimin@kmd.biglobe.ne.jp
 ホームページ <http://www.5b.biglobe.ne.jp/toyonaka/>
 発行年月日 2006年(平成18年)3月31日